学力検査

国語

（第五回）

（注意事項）

一　放送で指示があるまでは、開いてはいけません。

二　答えは、全て解答用紙に書きなさい。

三　検査問題は、大問七題で、1ページから13ページまで印刷されています。検査開始後に、印刷のはっきりしないところや、ページが抜けているところがあれば、手を挙げなさい。

四　解答用紙だけ提出し、問題用紙は持ち帰りなさい。

解答上の注意

解答する際に字数制限がある場合には、句読点や「　」などの符号も字数に数えること。

聞き取り検査受検上の注意

(1)　最初に聞き取り検査を行います。

(2)　聞き取り検査は放送で行います。問いも放送します。放送は全て一回だけです。

(3)　放送終了までは、3ページ以降を開かないこと。

(4)　放送中に、1ページと2ページにメモをとってもかまいません。

サンプル

このQRコードを読み取ることで，この回の放送音声を再生できます。

Sample

※注意　各ページの全ての問題について、解答する際に字数制限がある場合には、句読点や「　」などの符号も字数に数えること。

一　これから、中村さんが大野さんに、山の上で見た景色について伝えている場面と、それに関連した問いを四問放送します。よく聞いて、それぞれの問いに答えなさい。

（放送が流れます。）

Sample

(1) （問いを放送します。）

［選択肢］

ア 「すごかった」という言葉は、日本語の使い方として正しくない点。

イ 「すごかった」のはなぜなのかを初めに考えてから話していない点。

ウ 「すごかった」という言葉を、感動的なものを見たことに使った点。

エ 「すごかった」だけでは伝えたいことを適切に表現できていない点。

(2) （問いを放送します。）

［選択肢］

ア 大野さんとともに経験したことを例に挙げて説明したから。

イ 大野さんが好きなハイキングの話で、興味を持たせたから。

ウ 大野さんの想像力をかきたてる魅力的なたとえを用いたから。

エ 大野さんがわかりやすいような身近なものを使って話したから。

---

(3) （問いを放送します。）

［選択肢］

ア 質問をしてきた大野さんに共感しながら話すことで相手に満足感を与えている。

イ 途中で大野さんが理解しているか確認することで、相手の集中力を保たせている。

ウ 最初に質問の答えとなる部分を簡潔に述べることで、相手の理解度を高めている。

エ 情景描写を交え、場面の様子を詳しく伝えることで、相手が当時の状況を想像しやすくしている。

(4) （問いを放送します。）

［選択肢］

ア 今の季節に兄と山に登るという、いちばんの目的だけにこだわって行動することができたから。

イ 事前の情報だけではなく、現状に合わせた冷静かつ臨機応変な判断ができたから。

ウ もともとこの季節は晴れの日が多いと事前に調べる計画性と、兄を説得できる雄弁さがあるから。

エ 霧が晴れたところを見た経験があったため、雲が切れる場合もあると予想し、期待できたから。

聞き取り検査終了後、3ページ以降も解答しなさい。

Sample

二 次の(1)～(4)の――の漢字の読みを、**ひらがな**で書きなさい。

(1) 品物を問屋が卸す。

(2) 優勝の栄冠に輝く。

(3) 新党の綱領が発表される。

(4) 土地の一部を売却する。

三 次の(1)～(5)の――のカタカナの部分を**漢字**に直して、楷書(かいしょ)で書きなさい。

(1) 窓辺に机をウツす。

(2) むだな手間をハブく。

(3) 電車がテッキョウを渡る。

(4) ピアノのエンソウ会を開く。

(5) 褒められて彼はウチョウテンになった。

Sample

四 次の文章を読み、あとの(1)〜(5)の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（黒崎政男（くろさきまさお）『哲学者クロサキの哲学超入門』による。）

（注1）ナノメートル＝長さの単位で、百万分の一ミリ。
（注2）実在＝実際にこの世に存在すること。
（注3）無知の知＝知らないことを自覚すること。「自分に知識がないことを自覚する者は、自覚していない者より賢い」ことを意味している。

(1) 文章中の　ように　と同じ意味で使われているものとして最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　宝石を散りばめたようにきれいな夜景だ。
イ　明日台風が直撃するように報じられている。
ウ　彼は機械のように正確な動きをする。
エ　先生のように英語の発音が上手になりたい。

(2) 文章中に　A　犬の目は、グレーの範囲しか色として見分けられませんとあるが、この話題はどのようなことを伝えるために提示されているのか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア　犬は人間に比べて可視範囲が狭く、見る能力が劣っていること。
イ　犬の能力は、色の識別より音を聞く点において発揮されること。
ウ　人間と犬では、色の知覚範囲や世界のとらえ方に違いがあること。
エ　人間は犬よりも可視範囲が広く、世界を正確にとらえていること。

Sample

(3) 文章中に B火星人が現れました、C木星人がやってきて とあるが、これらの例が説明している内容をまとめた次の表を完成させなさい。ただし、Ⅰ に入る言葉は、文章中から**五字以内**で**抜き出して**書き、Ⅱ に入る言葉は、文章中の言葉を使って、**五字以上、十字以内**で書くこと。

	特徴	説明内容
火星人	紫外線を色として見る目を持っている。 「木ハホントウハ××色」 「木は緑ではない」	みんな Ⅰ にいても、それぞれの都合で Ⅱ ということ。
木星人	音も見える。 「ギターの音が見えてまぶしくて仕方がない」	

(4) 文章中に D ここから「テツガクする」ことが始まります とあるが、「テツガクする」と表されているのは、なぜだと考えられるか。その説明として最も適当なものを、次の**ア**～**エ**のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 常識を覆すことの難しさを際立たせ、哲学の重厚な印象を優雅にする効果。

イ 既成の事実を疑う行為の意義を目立たせ、哲学の厳粛な印象を軽快にする効果。

ウ 常識を覆すことの難しさを際立たせ、哲学の冷徹な印象を明朗にする効果。

エ 既成の事実を疑う行為の意義を目立たせ、哲学の奇抜な印象を平穏にする効果。

Sample

(5) 文章中の【そもそも「色」で……】について、〔人間の都合で世界をとらえているという考え〕として筆者が著した次の文章を参考にして、あとの問いに答えなさい。

〔私たち人間の都合で世界をとらえているという考え〕

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（黒崎政男『哲学者クロサキの哲学超入門』による。）

問い 上の文章中の「そう見えている」ことを例に、「色」が「人間の都合」で見えているだけだと筆者が考える理由をあとのようにまとめます。Ⅰ〜Ⅲに入る言葉を書きなさい。ただし、次の①、②にしたがって書くこと。

① 「『色』で世界をとらえること自体、私たち人間の都合にほかならない」（4ページ）の内容をふまえて書くこと。

② Ⅰ、Ⅲは**十字以上、十五字以内**で書き、Ⅱは、**五字以上、十字以内**で書くこと。

〔「色」が「人間の都合」で見えているだけだと筆者が考える理由〕

・Ⅰは、人間の見方や考え方が投げ込まれて成立した現象の世界の中で有されているものだから。

・「緑の木」は、私たち人間が木をⅡ構成した結果、そう見えているということであり、「緑の木」が見えたことと私たち人間がⅢことは同じではないから。

Sample

五

次の文章を読み、あとの(1)〜(5)の問いに答えなさい。

陸上部の新人マネージャーの咲良（さくら）は、リレーの選抜メンバーから外された大黒（だいこく）先輩が練習に来ていないことに気づいた。咲良は、大黒先輩を励ますために、彼が落ち込むと必ず行くといわれている、バレー部が使用している体育館裏に行くことにする。しかし、そこは、中学生のときにバレー部で注目選手だった咲良が近寄りたくない場所だった。大黒に会った咲良は、彼にバレー部時代の思い出を語り始めた。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（まはら三桃『疾風の女子マネ！』による。）

（注1）鋼＝咲良は、中学時代のバレーボール部で、そのアタックと気持ちの強さから、「鋼の咲良」という意味で「ハガサク」と呼ばれていた。

（注2）シューコ＝咲良がバレー部のときのマネージャー。

(1) 文章中に A チームワークもぶった切った。そして……。 とあるが、このときの咲良の気持ちにつながる、回想した場面が表現されている一文を抜き出して、はじめの五字を書きなさい。

(2) 文章中に B 絞り出すように言った咲良 とあるが、このときの咲良の気持ちと様子についてまとめた、次の文章を完成させなさい。ただし、Ⅰ は十字で抜き出して書き、Ⅱ は二字で抜き出して書くこと。また、Ⅲ は五字以上、十字以内で書くこと。

咲良は、試合には Ⅰ と考えていたが、その思いが全国大会の準決勝で Ⅱ に出て負けてしまった。それをマネージャーのせいにしてしまったという経験を語ることで、大黒に Ⅲ としている。

(3) 文章中に C なるほど とあるが、このときの大黒の心境として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア バレーボール部のときの咲良の精神力の強さを参考にして、自分の精神力を高める方法を理解した。

イ バレーボール部のときの咲良の苦い経験について聞き、自分が立ち直るための手がかりをつかんだ。

ウ バレーボール部のときの咲良の人間関係について聞き、自分の周囲の人たちとの関わりに気づいた。

エ バレーボール部のときの咲良の試合での失敗について聞き、自分の選手としての限界に気づいた。

Sample

(4) 文章中に D 反省を込めるには勢いがつきすぎた声 とあるが、これは咲良のどのような気持ちを表しているか。最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 練習に参加しない大黒の反省を促す言葉を強く語ってしまったが、マネージャーの仕事として必要だと感じている。

イ 強い口調で言ってしまったことを反省しているが、立ち直ろうとしている大黒には厳しさが必要だと感じている。

ウ 大黒が立ち直るように励まそうとするが、自分の過ちに対する反省の気持ちが強くなり、戸惑いを感じている。

エ 過ちに対する反省を含む言葉を元気に語ってしまったが、大黒の心に響いた手応えを感じて心地よく感じている。

(5) 次は、この文章を読んだあとに、山田さん、川野さん、林さんが、表現の効果について話し合っている場面の一部です。これを読み、あとの(a)～(c)の問いに答えなさい。

山田さん　咲良は、バレー部での思い出を話したくて大黒に話したのではないと思います。

川野さん　それは、その思い出のことを「［　Ⅰ　］」という言葉で表現していることから感じられます。

山田さん　それでも、その思い出を大黒に語ったあと、咲良の心境が大きく変わったように読み取れます。［　Ⅱ　］という表現は、語ったことで変わった咲良の心境をよく表していると思います。

林さん　意を決して伝えた咲良の思いが大黒に伝わったこともよかったとも思います。

川野さん　最後にその二人が笑い合っている場面からは、二人が選手とマネージャーとして理解し合えたことが伝わってきます。お互いに、［　Ⅲ　］ということを共感したのですね。

(a) ［　Ⅰ　］に入る言葉を、文章中から**十一字**で**抜き出して**書きなさい。

(b) ［　Ⅱ　］に入る言葉を、文章中から**四字**で**抜き出して**書きなさい。

(c) ［　Ⅲ　］に入る言葉を、「……が……ことがある」という形を使って、**二十字以上、二十五字以内**で書きなさい。

Sample

六 次の文章は、十五世紀に書かれた能楽についての記述である。これを読み、あとの(1)〜(5)の問いに答えなさい。

いかなるをかしき為手（つたない役者）なりとも、よき所ありと見ば、上手（優れた役者）もこれを学ぶべし。これ、第一の手立（注1）なり。もし、よき所を見たりとも、A「我より下手（下手な役者）をば似すまじき」と思ふ情識（注2）あらば、その心に繋縛（注3）せられて、我が悪き所をも、いかさま（きっと）知るまじきなり。これすなはち、B極めぬ心なるべし。また、下手も、上手の悪き所もし見えば、「上手だにも（でさえ）悪き所あり。いはんや初心の我なれば、さこそ悪き所多かるらめ」と思ひて、これを恐れて、人にも尋ね、工夫をいたさば、C いよいよ稽古になりて、能は早く上がるべし。

（世阿弥「風姿花伝」による。）

（注1） 手立＝ここでは、能の技を極めるための最良の手段という意味。
（注2） 情識＝強情な気持ち。
（注3） 繋縛＝束縛。しばられること。

(1) 文章中の いはんや を現代仮名づかいに改め、**ひらがな**で書きなさい。

(2) 文章中の A見たりとも の主語にあたるものとして最も適当なものを、次の**ア**〜**エ**のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア をかしき為手　**イ** 上手　**ウ** 手立　**エ** よき所

(3) 文章中に B極めぬ心 とあるが、これはどのようなことを表しているか。最も適当なものを、次の**ア**〜**エ**のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 見習う人がいないほど、自分の技に自信を持つこと。
イ 自分の悪いところが見えて、反省すること。
ウ 初心者を見下し、自分の悪いところに気づかないこと。
エ 自分は努力しないで、初心者には努力を要求すること。

(4) 文章中に C いよいよ稽古になりて、能は早く上がるべし とあるが、この言葉の意味として最も適当なものを、次の**ア**〜**エ**のうちから一つ選び、その符号を書きなさい。

ア 急に練習をしても、能が早く上達することはないだろう
イ だんだん能が上手になって、練習を早く切り上げられるだろう
ウ 逆に練習できなくなって、能を早くあきらめてしまうだろう
エ ますます芸の練習になって、能が早く上達するだろう

Sample

(5) 次の文章は、ある中学生が授業でこの文章を読んだ感想の一部です。これを読み、あとの(a)、(b)の問いに答えなさい。

私は、この文章を読んだあと、国語の先生から「以能問不能、」という漢文の一部を教わりました。これは『論語』の中の言葉で、「能を以(もっ)て不能に問ひ、」と読み、「能力があっても、能力が少ないように見える人にも問い、」という意味だそうです。

□気持ちを持ち続けることが大事だと思いました。

(a) 右の文章中の 以能問不能 について、「能を以て不能に問ひ」と読めるように、次の「以(テ) 能(ヲ) 問(ヒ) 不 能(ニ)」に**返り点をつけ**なさい。

以(テ) 能(ヲ) 問(ヒ) 不 能(ニ)

(b) □に入る言葉を、**十五字以上、二十字以内**で書きなさい。ただし、次の言葉の中から最も適当なものを一つ選び、言葉のつながりに応じて活用させながら書くこと。

・腰を低くする　・頭を抱える　・木で鼻をくくる

Sample

七 次は、中学生の石原さんと本田さんが「伝統を守る」とはどういうことを指すのか、考えている場面です。これを読み、あとの〈条件〉にしたがい、〈注意事項〉を守って、あなたの考えを書きなさい。

〔話題〕「伝統を守る」とはどういうことを指すのか

石原さん：地元の町内には、鎌倉時代から続いているといわれている伝統の踊りがあるんだ。変わらぬ踊りを私もしっかり覚えて、この伝統を守っていきたいな。

本田さん：テレビで地元の伝統野菜を使って洋食やアジア料理を作る試みが紹介されていたのを見たよ。時代に合わせて変えていくことで、廃れさせることなく守っていけるんだね。

〈条件〉

① **二段落構成**とし、**十行以内**で書くこと。

② 前段では、二人の考え方を整理すること。

③ 後段では、二人の考え方をふまえてあなたの意見を理由とともに具体的に書くこと。

〈注意事項〉

① 氏名や題名は書かないこと。

② 原稿用紙の適切な使い方にしたがって書くこと。
ただし、〜〜や――などの記号を用いた訂正はしないこと。

Sample